

刊夕日四十月七



定価 一冊五銭 一月五拾五銭 郵費五銭
廣告料五銭 十二字第一行五銭 拾行
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

蹄鐵の戒め

藤崎 四郎

「蹄鐵國を亡ぼす」と云ふ西諺がある。馬の蹄に打つ一片の蹄鐵、これが若し不完全であつたら、馬はよく走れず、従つてこれを御する騎兵の斥候任務が完全に果されぬ。斥候任務完全ならずば、全軍の行動迅速を缺き、敗戦の結果は遂に一國の滅亡を齎らす、と斯う云ふのである。即ち僅か一片の蹄鐵と雖も、未は亡國といふ大なる結果を生み出す事を、吾人はこの警話から知り得るのだ。

纏つて現時の世相を見るに、一般の言動に於て誰もが、自己と云ふものを引離さうとしてゐはしないか。これ即ち、自己の責任を回避し、自己を無責任な安全

人體中最も敏捷に動く筋肉は一番怪俄を恐れる險の筋肉です。地帯に置かうとする下心から出た態度である。凡そ社會生活上、自己が社會の一成員である事を忘れて、銘々が自己の責任を回避したらどう云ふ事になるだらう? 言はずと知れ

たそれは上述の『不完全な蹄鐵』の譬へに墮ちる。時は正に非常時、宜しく我々は、個々銘名が一片の蹄鐵である事を覺悟し、絶對の責任を以て自己の分を

明日の献立

【朝】味噌汁―葱 小付 焼のり

【晝】ジャム、トースト レモン

【晩】牛肉時雨煮 馬鈴薯 白煮 清汁―茗荷と焼きふ

全うすべきであらうと確信する。



口語歌

藤原 猪吉

自分だけが生きてんのなら事ないがみんな生きやうと争つてゐるんだもう雨がやんでしまつた道路では自動車自転車疾驅してゐる今度あつたらこういつてやらうとほほえんだ戀はこんなにも純な私をつくつたすきでなく嫌ひでもない百姓を今年も半分過した

私

破れ障子からいきなり蛾が入つて来て電氣の廻りをぐるぐるまはる病氣して入院してゐる友達にわざと暗れやかな手紙を書いた

負け恒しと言ふのではない敵もない味方も持たない私は氣樂だ

凄じ響きが聞えた坑道から生き延びてきた坑夫の蒼ざめた顔

闘へと教へてくれたあの友にも一度あつて話して見たい

重い足引きづつて歸る野の道だ顔に突當つて飛ぶ虫がある

俳句

静 浪江

七月の屋根草に蝶ひととみし
蛙こゑ今日もききつつゆ

く田のほとり
走ること雲の影去る青田かな

一冊の代金で
御希望通りな

五冊の雑誌が
自由に讀める

川崎巡 回文庫
電六三〇番

(申込次第規則書進呈)

天地に満ちる

青葉のオウ歌

初夏は行け!

野に! 山に! 海邊に!

34年型デラクスセダんで

三井ダクシー

電話六八五番

すばらしい新型の

婦人子供服豊富

一流デパート専屬の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覽下さい。

平町二丁目

山家メリヤス店

電話六〇五番

開業

整形 外科 専門

トントゲン科

(病院完備)

平町搔樋小路四

大河内整骨院

醫學士 大河内一郎

体温計の検査日です

10日 検新 機設 お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 西村屋藥局

電三番

夏服

シルクポリーライ三ツ組 拾六圓五十銭
セフア一折襟上下 八圓五十銭
黒セル立エリ上下 八圓五十銭
白セル立エリ上下 七圓
白テヨッキ上等品 一圓三十銭
トレーニングパンツ種々入荷

平町四丁目

正札堂洋服店

電話四三六番

開業

内科一般 川井安子

川井内科診療所

平町南町六五(舊居)
電話二四三番

吉田眼科病院

平町屋野電話六八番

醫學士 吉田 久雄

パンも食ひます 俵も運ぶ

抱腹絶倒の...

町民體育大會愈々明日

既報平町青年團主催第六回町民體育大會は明十五日午前九時より第三小學校庭に開催されるが本年はパン食ひ俵運び自轉車おそ乗り實つり其他眼新しい興味ある競技が呼物で各區共選り抜きの選手を揃へた爲出場選手は約百名に達し新記録を出すものと豫想されて居るが當日は午前九時より左記順序の式を擧げ

- 一、選手入場
- 一、優勝旗及カップの返還
- 一、國歌合唱
- 一、開會の辭
- 一、審判長訓辭
- 一、競技開始

大會終了後審判長報告、優勝旗授與、來賓祝辭、青年團長の閉會の辭及び萬歳三唱大會を終る豫定であるが競技プログラム及び大會役員左の如くである

- (トラック) 百米 二百米 四百米 八百米 一萬米 俵運
- 東西對抗綱引 百米
- 決勝 役員リレー 自轉車おそ乗競争 千五百米
- 來賓實ッリ 八百繼走決
- 勝(フィールド)走巾跳 砲
- 九投 走高跳 會長青沼
- 鋒郎 審判長永島磯物太
- 總務柴田徳二 鈴木武雄

鎮守の社前に

經濟更生を誓ふ

神谷村が擧村一致努力

本年度經濟更生村に指定された神谷村ではその後擧村一致で更生の成果を期し努力邁進してゐるが来る二十日同村役場に三十名の更生委員を招集して協議會を開き更生策の諸般に亘つて詳細の計畫を決定することになつた、當日は縣から内務部長その他の關係官吏の臨席を請ひ同村鎮守社前で奉告祭と誓宣式を執行し各部迄に短縮すると

庶民金庫

營業時間 土用中短縮

平庶民金庫では来る七月二十日より八月二十日迄の土用中職員休養の爲め執務時間を午前九時より午後二時迄に短縮すると

本郡の駒市に

他地商人續々

石城駒の聲價高る

石城郡下に於ける本年度春駒せり市は去る九日の上小川市を最後として全部終了したが上小川、川前、黒田、上遠野九圓、昨年に比し頭數に於

幾分減少してゐるが

價格に於て約三割五分の高騰を示した、尙同市の販路は最近縣内のみに留らず茨城、千葉、栃木方面から軍馬補充賣込みを目的に入込む多數の商人によつて茨城に十三頭、千葉及び栃木に五十餘頭宛運取られたことは近年にないことと大いに石城馬の聲價が認められたものとして組合當局では喜んでゐる

- 黒田 一二〇頭 七、七
- 〇六圓(平均六圓一五)
- 上小川 二六頭 一、六
- 六五圓(平均六圓四〇三)
- 上遠野 一八〇頭 一〇
- 五七二圓(平均五八圓二錢)
- 川前 一一五頭 八、三

劍道具購入寄附

豫期以上の成績

既報平町小學校兒童保護協會では第一、第三兩校の劍道具購入の爲め豫てより井上會長其他資金募集中の處一般父兄の後援願熱誠を極め募集資金は豫定額の八百圓を突破する成績を示したので来る十六日午後二時から第三小學校に父兄を招き報告を兼ねて資金の用途に就いて協議する

榮養の

實際と理論

本縣健康保險課では既報の

農家經營研究

神谷村產業青年團では来る二十五日同村農事試驗分場に於いて研究會を催し農家經營の研究發表を試みる

農務課長來郡

新任永野本縣農務課長は濱通り方面初巡視のれめ昨十二日來平今十三日平穀物検査所平農業倉庫その他を視察午後又葉郡に向つた

荒井判事上京

平區裁判所の荒井豫審判事は来る十六日より司法省内に開かれる第二部自由研究會員として三ヶ月間同省に出張を命じられたので本日午後一時二分平驛發列車で出發した

中尉外菅波、鈴木、根本、花輪、大竹、中野の各指導員は明十五日午前九時より湯本小學校に開かれる縣の巡回青訓指導員講習會に出席する由

庭球選手出發

警中及び平商の庭球部員は来る廿三、廿四の兩日三春中學校に開催される縣下中等學校庭球大會出場の爲めいづれも廿二日午前五時四十二分平驛を出發するが兩校の旅舎は三春町大町の川北旅館に決定した

平職繁栄の所報告

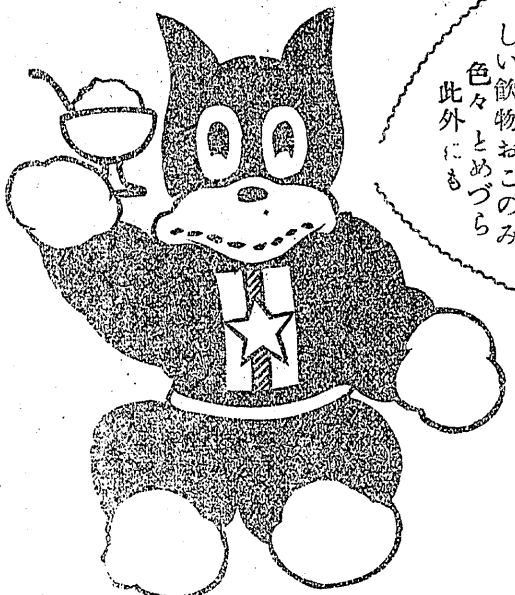
回人を求める方
△農夫 二十一、三十才 月

中村齒科醫院

平町銀治町七

毎度有難う御座います
今年も相變らず始めましたから御涼みがてら何卒御立寄り下さい。
御待ちして居ります。

- アイスクリーム アズキアイス
- ミルクゼーキ ソーダ水 ミツ豆



魚清食堂部
電話六三三番

狂言の宗家

野村師一行

平館に於て演技

平寶生會が主催して

平寶生會では来る八月四日
本邦狂言界の宗家野村万造
氏外五名を招き午後一時よ
り平館に於て平町喜多會及
び觀世會後援の下に狂言大
會を催し三派聯合の素諾平
町有志の仕舞等あつて左記
番組に依つて狂言を觀賞す
る事になつたが狂言は古典

- 的藝術として其價值高く然
も一般大衆向の情操教育上
有意義な演技として今や一
般家庭に期待されてゐる
- 寢音曲 野村 万造
- 論 宗 野村 万齊
- 繩 綱 野村 万介
- 蝸 牛 佐野 平吉
- 三人不具 野村 万造

獨身巡查合宿

旭友寮開所式

ため横山署長主となり巡查合宿所の設置を論議して
た事既記の如くであるが仲町の二階建築家が署にも近
く便利だと話が纏り旭友寮と名づけて来る十七日の大
安日を卜し開寮式を舉行することになつた、一人當り
の費用は約十二圓内外で之により獨身巡查は大助かり
であると

配達希望の兒童が

一度にドット十名

紹介所が各方面に照會

せられたいと

最近平町に於ける小學兒童
間に學業の餘暇を利用して
納豆賣り新聞配達その他の
職より學費を得んとする者
が漸増しつつあるが昨日第
一校高等科生十名が平職業
紹介所に新聞配達の斡旋方
を申込んで来たので同所で
は各方面に照會してゐるが
雇入れたさ向は同所に問合

臨海學校

申込兒童

平第一小學校で八月一日よ
り七日間新舞子海で行ふ日
歸り臨海學校の希望兒童を
募集中であつたが本日迄に
二年十九名、三年廿五名、

四年十八名、五年五名、計
六十七名である

自轉車で 産業視察

年國では今秋收穫期前の十
月初旬頃の比較的農閑期を
利用して東京、千葉、茨城
方面に自轉車を利用して鎌田
同村小學校長高橋農業技術
員引卒の許に産業視察を試
みる由

夏の祭禮

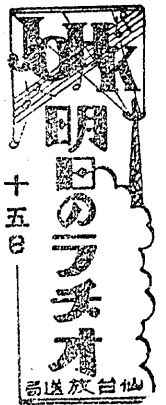
平町揚土臺鎮座
八坂神社祭禮は
今十四日執行
平町鍛冶町鎮座
水天宮祭禮は十
五日執行、餘興として芝居
がある

一日に二十貫は 左程難事でない

公園池の釣魚大會

落札者が主催で五日間

平町では昨十三日午後一時
より役場會議室に於て松ヶ
岡公園池の釣魚大會の準備
札を執行したが結果は百五
十圓を以て四丁目山田信次
氏に落札した同氏は十五日
から五日間に亘つて一般に
公開抽籤により場所を定め
大々的な釣魚大會を催す筈
であるが永年池中に放置さ
れたまゝ自由に餌を取れな
かつただけに場所と腕と仕
掛け次第で一日二十貫を釣
り上げるのは左程難事では
ない



今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
児童劇「日本晴」名古屋
A.R.O.座
後六、二五 家庭マツサー
ジ講座 第四講 岡見瞭
後七、三〇 獨唱 新交響
樂團練習所より中繼 藤
原義江
後八、〇〇 長唄連夜三題
其の一 綱館松永和風外
大勢
後八、二五 浪花節「由井
内郷御臺境」ノ矢天王例大
祭は十七、八兩日執行され
るが例年の如く近郷近在か
らの參詣客に盛賑を見込ま
れる

明日の部
正雪と泰式部「木村重松
後九、〇〇 時事解説
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組預告
明日の部
前八、〇〇 孟蘭盆會法要
(第三日)曹洞宗大本山總
持寺より中繼導師總持寺
貫首栗山恭音外一山諸衆
前九、一〇 榮養料理献立
料理南島の甘露副料理
前九、三〇 子供の時間
前九、五〇 孟蘭盆會法要
(第三日)曹洞宗大本山總
持寺より中繼導師總持寺
貫首栗山恭音外一山諸衆
前九、一〇 榮養料理献立
料理南島の甘露副料理
前九、三〇 子供の時間
前九、五〇 孟蘭盆會法要
(第三日)曹洞宗大本山總
持寺より中繼導師總持寺
貫首栗山恭音外一山諸衆
前九、一〇 榮養料理献立
料理南島の甘露副料理
前九、三〇 子供の時間

少年消防配役

平第一
小學校高等科教員は昨日
職員會を開き本年度少年消
防各係兒童二百餘名の配役
に就いて打合せを行つた

撤水車の威容

平消
防組が福島モーター商會平
出張所より四千圓を以て購
入する豫定の撤水自動車は
来る二十日到着する筈であ
るが同自動車は犬塚式新シ
ボレ撤水放水洗滌を兼ね
た優秀車で保健衛生の上に
益する所大である由

消防組の納屋

平消
防組では工費三百圓を以て
警察署前火の見櫓下に鐵網
コンクリートの納屋を建設
する由

幼稚園の遠足

平十
五丁目清風幼稚園では来る

童謡と唱歌 一部で、鳥
の聲外數種仙臺市長明小
學校兒童ピアノ伴奏 八
巻さき 二部齊唱濱邊外
數種仙臺市上杉山通小學
校兒童
前一、〇〇 宗教講話心
の避暑矢吹慶輝
前一、〇〇 講演「最近
に於ける歐米と日本の化
學工業」鈴木太郎
前二、一〇 講演「南洋
に於ける日本委任統治」
諸島通譯堀英四郎
後一、二〇 全國高等專門
學校野球大會 關東北
北海道選抜仙臺スポーツ
マン球場より中繼
後二、二〇 映畫劇「心中
火取盃」
坂東好太郎外大勢

一、五五 映畫主題歌「母
の夢」外數種黒田進
後二、一〇 映畫劇「愛憎
峠」夏川大次郎外大勢
後二、五〇 レヂュー「一
心太助」根本健一外大勢
後六、〇〇 子供の時間
名作物語「印度の童話に
就いて」ロ印度の童話虎
になつた鼠
後七、三〇 舞臺劇「家老
の初戀」澤村田也助外大
勢
後八、〇〇 長唄連夜三題
菖蒲浴衣
後八、二五 落語 昆布巻
芝居
後八、五〇 物語「にんじ
ん」

小名濱の賭博

小名
濱町字竹町漁夫佐川安吉
十八日不ニタクシーに分乗
新舞子に園兒の遠足運動會
を催す由

少女殺し犯人を

仙臺で精神鑑定

既報去月廿二日勿來町の少
女暴行殺人犯人として平地
方民を驚かした同町大日炭
礦坑夫佐藤正夫(一)假名は
其後平刑務所に收容中であ
つたが仙臺東北大學醫學部
で精神鑑定を行ふ爲め本日
出發した

裁判所たより

平町古鍛冶町無職根本藤
平(三)は内縁の妻草野イチ
(三)が他の男と同棲する事
になつたのを嫉み去月五日
女を田町料理店あけば方座
敷に連れ込んで毆打し全治

市原醫院

平町 田町
電話一四番

海軍の比喩

進新音頭

(藤野上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

一八三

「何でですか、背から寝ちまつたもんですから少とも知りません」

「嘘を吐きなさい、お部屋方ですのは御免になつて居るが、俺の家で勝負々々つて怪しからねえ」

「誠に相済みません」
「何にしる酒を付けろ」
「へえ」

「時に権兵衛さん、貴郎は相撲好きだから聞いたら分るだらうと思ふが、雲早戸時右衛門といふ年寄があるかい」

「へえあります」
「その弟子に櫻川五郎藏といふがあるさうだが知つてるか」

「知りません、この外東西にごさ候といふ相撲でござう」

「入谷田圃に家があるといふが、入谷邊に居るのは誰だ」

「ヒヨロ竹が入谷だから知つて居ませう」

「ちやア、ヒヨロ竹を呼んで呉れ」

「へえ……」
長兵衛の前に両手をついて

「何もこの頃は小荷は鼻が曲つて居るから、嫌だ」



と云ふのを権兵衛さんがやれ〜と云ふもんですからつひ……」
「何を云ひやアがる、貴様入谷だつて云ふちやアねえか」
「へえ入谷でございます」

「入谷に櫻川五郎藏てゑのがあるか」
「へえ……」
「阿母が煩つてると云ふがどうか」
「阿母が一人ございます、二三日前に戸口で見掛けたことがございます」

「フーム権兵衛……」
「へえ」
「實は是々……」
と話をしつゝ
「如何にも感心だから世話アして遣らうと思ふから、何卒尋ねてやつて貰えてえもんだ」
「そりやア感心だ、そんなら一つ行つて来ませう、竹汝を知つて居るなら案内をしろ」
「畏まりました」
スルト外のもの迄一緒に、行かうといふんで、同勢が

「誠には有難う存じます」
そこで一同の者は歸つた
櫻川五郎藏は翌日長兵衛の家へ禮に行きますと、長兵衛も大層喜び、同人を連れて廣徳寺前の親方の家へ参りまして、雲早戸時右衛門の家内に逢つて、之から櫻川の面倒を見たいと話をすると、雲早戸の女房も大に悦びまして萬事宜しくと頼みました。そこで長兵衛先づ入谷へちよつとした家を借りてやり、阿母の世話や炊事をする小女を一人置いてやり、鍋釜から諸道具米醬油に至るまで自分が送る事にした。

全能式電氣治療法
ラヂウム放射浸透治療
紫光線治療

本療法は異なつた八種の電流を使用し心身共にいふべからざる爽快を覚ゆる裡に最高の治病及増進的効果を遺憾なく發揮させる事が出来るのであります。

適應症
頭痛、神経痛及麻痺、リウマチス、神経衰弱、ゼンク、ルイレキ、胃腸病一切、皮膚病一切、關節炎、淋病、蓄膿症、動脈硬化症、ウチミ、クジキ、白、黒ソコヒ、月経痛、腰痛、中風、痔疾一切、其他

伊坂電療院
町六町五

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル
新型子供ボージュ各種

このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えました

特色

平四 電話一四〇番

電話六四〇番

皆様のタクシーへ

此度は夏にふさはしいすがくしい色彩のニアクシヨン式新車が入車致しました。自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー
電話六四〇番

夏の通學服

◇小學用霜降小倉服	40.00
◇" " 上口	85.00
◇" " 特製	1.20.00
◇中學用	2.05.00

第二・第三制服も取揃ひました。

ふかや洋服店 平三 電話 203

門 專

産科 婦人科 花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番